

宮ツメタ谷ヒノキ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・飛騨森林管理署
所在地	岐阜県高山市
面積	8.98ha
設定年	平成2年4月設定・平成30年4月変更
保護林の概要 (設定目的)	宮国有林に存する天然生ヒノキが群生する原生林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	平成30年度
調査項目	森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査)、その他の調査等(資料調査・聞き取り調査)
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。
結果概要	確認できた影響「ア:野生鳥獣」 概ね良好に保護・管理されている。 ただし、ニホンジカによる被害情報があり、ニホンジカの食痕が林床で散見されたことから、ニホンジカによる森林被害の拡大が懸念される。 よって、引き続きモニタリングを継続することが適当である。